



子供の町 だより

創刊： 昭和24年11月
 発刊： 社会福祉法人 子供の町
 児童養護施設 子供の町
 児童養護施設 エンジェルホーム
 地域小規模児童養護施設 菜の花

住所：〒344-0112
 埼玉県春日部市西金野井337
 TEL：048-746-0206
 FAX：048-746-9215
 HP: <https://kodomonomachi.jp/>



「子供の町創立70周年を迎えて」

社会福祉法人子供の町
 理事長 齊之平 伸一

若葉が美しい季節に、天皇陛下が御退位され皇太子殿下が御即位されました。元号は令和と改められました。令和には、厳しい冬の寒さに耐えて美しく咲く梅の花のように、一人ひとりが個性豊かな色とりどりの花を咲かせてほしいという思いが込められています。

令和の時代がスタートするにあたり、困難な事情で入所している子どもたちが、それぞれの個性を活かし、色とりどりの大きな美しい花を咲かせてほしいと願っております。

さて、社会福祉法人「子供の町」は、本年、1949年5月の開設から70周年を迎えます。戦災孤児の収容施設からスタートしましたが、現在は主に虐待を受けた子どもたちの入所が多くなっております。

設立当時は10名に満たない職員と、20数名の子どもたちを収容していた施設が、創立70周年を迎えた今日、皆様のご支援をいただき、社会福祉法人「子供の町」として成

長することができました。80名定員の「子供の町」と65名定員の「エンジェルホーム」という二つの児童養護施設、6名定員の地域小規模児童養護施設「菜の花」、6名定員の一時保護施設「あやめ寮」を運営し、更に「子供の町クリニック」という診療所も併設しております。職員数も80名を超えています。保育園に通う幼児から高校3年生まで、様々な事情を抱えながらも元気に生活しております。その成長が関係者にとって、最大の喜びです。

現在、少子高齢化による労働力人口の不足が進んでいます。「子供の町」でも、人材の確保、育成が重要課題となっております。そこで、外部支援会社のご協力の下に、給与制度の再構築を行っております。公正で納得性の高い制度をつくり、働きやすさと働き甲斐の増進を図り、職員の皆さんの定着と働く意欲向上を目指しております。今後もご支援、ご協力のほど、宜しくお願い致します。



「2019年皐月」

子供の町施設長 根岸 昇

「皐月」とは5月のこと、稲作の月として「さつき」になったそうで「神に捧げる稲」の意味があると言われていています。今春は寒暖の差が大きく感じられますが、近隣の圃場にも水が引かれて田植えの真っ最中です。ヒバリがさえずり、ツバメも飛び交っています。今年度は子供のとエンジェルホーム合わせて、小学生10名・中学生11名・高校生16名(支援学校4名)・大学生2名が新入学しました。大学生2名は「20才までの措置延長」が制度化されて初めてのケースで、社会福祉の専門職や化学関係の研究職を目指しています。法人独自の奨学自立支援の取り組みとして、過去6年間に男性2名が施設から大学へ通学し、卒業生を輩出しています。一人は小学校教員となり、今春初転勤でした。



さて、子ども時代には本を読むことが大嫌いだった私ですが、今では早朝の静かな時に新聞を読むのが楽しみとなっています。5月2日の朝日新聞【天声人語】。『「十八になる私の子供は内向的でハキハキしません。ギターのプロになるのだと申します。どうしたらよいでしょう」。50年前、本紙の人生相談の欄に投稿が載った。相談者はのちにロックシンガーとなる高校生、忌野清志郎さんの母である▼(途中省略)担任だったのは、美術教師の小林春雄さん。「何年か好きなことをやらせてみましょう」。息子の将来を案じる母をそう説得した。清志郎さんの代表曲の一つ「ぼくの好きな先生」のモデルになった人だ』
いつの時代も親は子どもを案ずるものです。

私の親ならどういう相談をいただろうか。おそらく「親への口ごたえがひどいのですが、どうしたらいいのか?」「5年生になっても夜尿が治らないのですが、どうしたら治るのか?」などの相談をしたことでしょう。あるいは「小学校の先生から“算数などの理解が遅い、出来なくても平気である”と指摘されました。どうしたら良いのでしょうか」と相談したかもしれません。そんな私でした。

今年度は児童養護施設子供の町を開設(1949年5月)してから70周年の節目になります。過日、地元で暮らす元保育士さんと53年前に中学卒業して卒園(就職)



した男性が訪ねて来ました。小学3年の時に入所し、入所理由は自分なりに理解はしていたけれど寂しくて施設生活に馴染めず、連れ戻されるのはわかっているのに3回施設を逃げ出し、歩いて歩いて行田まで行ったこともあったそうです。朝ご飯に生卵が出て自分が食べたくても上級生にあげたこと、上級生に言われて数人で深夜にスイカを盗りに行ったこと、正月などに卒園生がスーツを着て来園し、お土産やお小遣いをもらうとすごく格好良く見えて「早く俺も卒園したい!」と思ったこと、豚小屋の掃除をするのは匂いが臭くて嫌だったことなどを話してくれました。今では内装関係の会社と居酒屋経営者としてご活躍。

昨年の春、夕暮れ時になり職員が忙しい時間帯になると他の子どもとトラブルを起こし、寮舎・施設を抜け出していたM君(小1)も、物知りのようでも肝心な事が伝わらない不思議なT君(中1)も将来はどのような大人に成長(変身)するのでしょうか。子

どもたちの未来につながる種苗を丁寧に育て見守ることが、私たちの社会的使命なのです。



「就任にあたって」

エンジェルホーム施設長 坂本 仁志

平成31年4月1日、エンジェルホーム施設長の拜命を受け着任いたしました。皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成から令和へと新しい時代へ移り変わる年、そして子供の町70周年という記念の年に「社会福祉法人子供の町」の一員として働く機会をいただいたことに感謝の気持ちとその責任の重さを感じています。

私は、前年度まで埼玉県社会福祉事業団で、児童養護施設や障害者支援施設等、四つの施設で30年間働いてきました。この30年は、昭和から平成へと時代が変わり、情報化社会やグローバル化等が急速に進み、社会の価値観も変わってきた中、福祉を取り巻く世界も移りゆく時代の流れとともに法律や制度の改正もあり大きく変化してきた時代でありました。

児童養護施設に入所してくる子どもたちの背景も変化していく中で、施設に求められる役割も、新しい社会的養育ビジョンで示されたように、施設の高機能化・多機能化が求められるようになってきています。

子供の町では、「子どもたちが、ここで暮らして良かったと思える施設づくり」「職員がここで働いて良かったと思える施設づくり」「地域の親子に寄り添う施設づくり」と3つの経営理念を掲げていますが、基本的

には、この理念の実現が高機能化・多機能化への施設づくりに結びついていくものではないかと思っています。

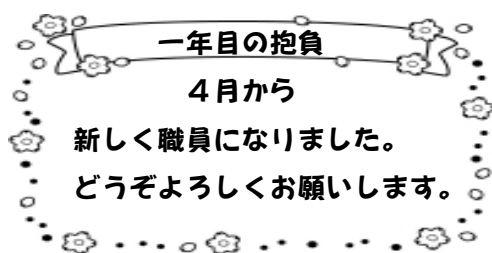
子どもがここで暮らして良かったと思えるということは、そこが単に安全が保たれた居場所であるというだけではなく、「自分が大切にされている」という安心感があってこそ感じる気持ちであると思います。そして大切にされているという安心感は、一人ひとりに向き合う職員の存在であり、日常生活を共にする職員のありようが、そのような安心感を生み出すものではないかと考えられます。

職員がここで働いて良かったと思えることは、日々、子どもに向き合い関わりにおいて、子ども一人ひとりにとって適切な養育環境を作り出すことや、傷ついた心を如何に癒やしていくのか等、考え支援していく積み重ねの中で、子どもに変化が生じたり成長を感じ、まさに子どもが「大切にされている」というメッセージを受け止めてくれたと、職員が感じた時なのではないかと思っています。さらには、その支援の成果が適正に評価されることが、やりがいや生きがいに結びつき、働いて良かったと感じることになると考えられます。職員の満足度を満たすことで、支援を受けた子どもの満足度に繋がるといって、より良いサイクルとなつて効果的に巡回することになっていくものと思います。

様々な背景と支援課題が複雑な子どもが増えています。職員の支援の質を高めるだけでなく、社会的にも組織、施設の評価に繋がり、地域からも信頼される施設、地域が求める施設、地域の子育て支援にも貢献で

きる施設となっていくものと考えます。

時代の流れとともに制度や物の価値観は変化していきますが、子供の町が掲げる経営理念である「人づくりが施設づくり」という考えはいつの時代になっても不変的なものと言えるのではないかと思います。そして社会福祉法人として地域への貢献という点からも地域の親子に寄り添う施設を目指していく理念は、大切な視点であると思います。私も微力ではありますが、子供の町の理念を具現化していくため、精一杯努力していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



エンジェルホーム 9寮 藤尾 義明

今年度から9寮に配属になりました藤尾です。子供の町に来てから1か月ほど経ちましたが、慣れていないことばかりで子どもたちや他の職員の皆様にご迷惑をかけています。ですが、少しずつ色々なことを覚え皆さんから信頼されるよう日々努力してまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

子供の町 ひまわり 古谷 真唯

まだ分からないことばかりで子どもたちとの関係作り、子どもとのかかわり方が全然できていないため、子どもたちとたくさん接して少しずつでもよい関係作りができるようにしていきたいです。また、子どもた

ちが困っていたり悩みを抱えていたらちゃんときいてあげて不安や悩みをなくし笑顔にさせてあげられるような職員になりたいです。これからもよろしくお願いいたします。

子供の町 3寮 川口 拓海

この度3寮に配属となりました川口と申します。新社会人として緊張していますが、同時にこの場所に立てることを嬉しく思います。入職して1か月が経ち少しずつ慣れて始めてきましたがまだ分からないことが多く、子どもたちの対応、日々の業務で困ることが多くあります。そんなときにサポートして下さる先輩方に感謝の気持ちが絶えません。今はその姿を目標に、仕事や自分に責任を持ち、自分も後々は頼られる存在になれるよう努力していきたいと思っています。

子供の町 ゆり 久保田 しほ

私は、子どものために役に立ちたいと子供の町に入職し、約2か月经ちました。初めは仕事の内容を覚えることで精一杯でした。今はまだ先輩職員の方々に一から教えてもらうことばかりで、迷惑をかけていますが、早く仕事を覚え、子供の町の職員としての自覚と責任を持ち日々努力をしていきたいと思っています。また、まだまだ未熟な私ですが、子どもたちの心や成長を支えられるよう、これからも多くのことを学んでいきたいと思っています。

エンジェルホーム 5A寮 宮澤 歩

新職員としての抱負は、2点あります。1つ目は、子どもたちと関係をきちんと築いていくこと。2つ目は、一緒に働く職員と連携をしっかりとれるようにすることです。

そのために子どもたちとは皆平等に優しく、時には厳しく接していきたいと思います。また、職員とは、報告・連絡・相談を密にし、業務を一つ一つ着実にこなしていきたいです。

エンジェルホーム 5B寮 佐藤 亜唯

私は新任職員として、日々の生活で子どもたちの対応に対して、常に学び続けていきたいと思っています。そのために、分からないことは自分一人で判断し決めるのではなく、先輩方に相談をしてアドバイスをいただき、子どもたちへの対応や関わり方を工夫していきたいと思っています。また、子どもたちに安心してもらえるように、子どもたちと積極的に関わって行きたいと思っています。

子供の町 菜の花 野邊 実希

菜の花に配属されてから約2か月がたち、子どもたちの性格や価値観に刺激を受ける日々です。まだ、お互い手探りではありますが、これから少しずつ様々なことを共有していける関係を築けたらと思います。

また、私からも子どもたちに異なる価値観や刺激を与える働きかけができる様視野を広げ様々なことに興味を示し行動していきたいです。

子供の町 わかば 中橋 瑞輝

私は、子供の町で働くまでにさまざまな体験をしました。その中でも、両親の離婚や母親の死など自分の見方だった大人との別れを体験しました。この二つの体験は、当時の私にとってとても大きなことでした。ですが、私は周りの大人に助けられながら生きてきたと思います。自分が体験したこと

を活かした経験にしていき、子供の町で暮らす子どもたちに、周りにいる大人の大切さを教えられるような職員になりたいです。

子供の町 あやめ寮 茂垣 美紀

今年の抱負は、「わからないことも諦めず取り組む」ことです。

私は、わからないことや不安なことはすぐにできないと言って諦めて後回しにしてきました。「これでいいのか」「もったいなくないか」いつも後悔してきました。なので、今年は、不安なことやわからないことは後回しにせず、先輩や同期に教えてもらいたくさんの経験をして学び、後悔をしないように一日一日を子どもたちと大切にしていきたいです。

事務所 高田 倫

5月より、事務局で働かせていただいております。これまでは、市の保健師として家庭訪問や健康教室の開催、事務職としては病院での経理や、国で行政事務をしておりました。これまでの経験を活かしつつ、様々な理由で施設で暮らしている子どもたちの為に、少しでも貢献させていただけたらと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



一年生になりました。
今年度の新入生は42人です。
幼稚園 3名 小学生 10名
中学生 11名 高校生 16名
大学生 2名

小学生

「いちねんせいになって」

エンジェルホーム 5B寮 T. M.

わたしは、ことしの4がつから、さくらがわしょうがっこうへ、にゅうがくしました。

にゅうがくしきは、知らないおともだちが、たくさんいてきんちょうしました。5にんともだちができました。もっとたくさんともだちをつくりたいです。

がっこうでがんばりたいことは、ぜんぶのべんきょうです。

こまちのだんすくらぶで、じょうずにおどれるようになりたいです。

「しょうがっこうでがんばること」



子供の町 すみれ M. O.

わたしが しょうがっこうにはいってから たのしいのは

てつぼうやさかあがりをする ことです。うんていをする ことも たのしいです。

中学生

「中学校でがんばりたいこと」

エンジェルホーム 5A寮 Y. H.

私は、中学校でがんばりたいことが二つあります。

一つ目は中学校で友だちをたくさん作る

ことです。友だちを作ってたのしいまいにちにしたいです。

二つ目は部活です。美術部で絵を上手に描くことです。私は、絵があまり上手じゃないので美術部で上手に描きたいです。



「新入生として」

子供の町 たんぽぽ R. S.

僕は葛中に入学して、小学校よりも難しい勉強や部活が始まった。

僕が入った部活はサッカー部だ。サッカー部は難しい練習で帰るのも遅く、色々といそがしい。テストは小学校より少ないが中間テスト、期末テストがある。とても難しいが習ったことをいっぱい練習すれば、全然難しくない。

でも勉強しないで遊んでいると難しい。だから僕はこの3年間は部活、勉強などをあきらめずがんばっていきたいと思う。

高校生

「高校生になって」

子供の町 ひまわり M. I.

私は、高校生になり頑張りたいことが二つあります。


一つ目は、新しく始まった教科の勉強です。私は商業科で簿記や情報処理など中学校では学べない教科が増えたのでより一層勉強に励みたいと思います。

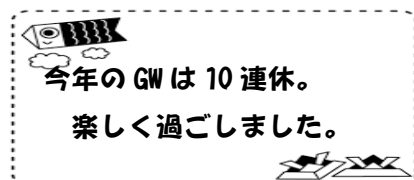
二つ目は、検定です。将来就職や進学に有利になるので積極的に検定に臨んでいきたいです。この二つ以外にも高校は義務教育

ではないので、3年間有意義な生活を送りたいです。

「ぼくが高校でやりたいこと」

エンジェルホーム 9寮 K. T.

ぼくが高校でやりたいのは部活です。ぼくはサッカー部に入っています。ぼくのポジションはGKとDFです。どっちも守るポジションです。早くスタメンに入れるようにがんばります。読んでくださりありがとうございました。




「やまのぼり」

子供の町 わかば 小1 R. S.

5月6日に7りょうで とちぎけん おおひらやまに いきました。やまのぼりはいへんでしたけど てっぺんのじんじゃでおべんとうをたべて おべんとうはとてもおいしかったです。

「ゴールデンウィーク」

エンジェルホーム 5B寮 中2 M. H.

ゴールデンウィークにはきょうだいで池ぶくろにいきました。アニメイトにいきました。とてもたのしかったです。たのしかったのでまたいきたいとおもいました。他にはえいが館にいきました。えいがをみたあとは本をかいました。とてもたのしいゴールデンウィークでした。

「楽しかったゴールデンウィーク」

エンジェルホーム 9寮 小4 S. W.

ぼくは、ゴールデンウィーク中に2号室でびっくりドンキーにいきました。びっくりドンキーではころころステーキをたべました。

ほかにも、キウイのジュースをすこしのみてみたら、ほんとのキウイをたべてみたいでした。

つぎのひは、おねえちゃんとイオンへいきました。いちばんたのしかったのは、マリオカートとプリクラです。マリオカートは1しょう1ぱいでした。プリクラはいろいろなをとって、この日がいちばんすきでした。



◆管理棟事務所の大掃除！約30年分に及ぶのではないかと思う大量の文書類を廃棄し、書類保管庫・事務机を一部新調しました。重要書類は溶解処分する業者に発注し証明書受領。里親支援専門相談員・家庭支援専門相談員も事務所に机を構え、子どもへの支援全般に精通している専門職が窓口対応・電話対応もシェアしながら、保護者・関係機関・地域住民への対応に専門性と適切さを発揮できるよう新体制になりました。事務職員にも専門職の業務内容への理解、子ども・保護者への支援についての理解と部分的支援が期待されていますので、これを機会に双方向の共有化が強化されることを願っています。

◆中高新入生の部活動も本格化してきました。近年は野球部に入部する男児が極めて少ない傾向を感じていますが、新高1年男

児2人が硬式野球部に入部したのです。一人は中学時代は演劇部、他の一人はどちらかという理系のタイプ、不思議です。他に気づいたのは卓球人気です。子供の町サッカークラブで中心的な存在だったM君は、中学生になっても当然サッカー部だと思って「何部に入ったの?」と聞くと「卓球部!」。とても意外でした。日本の卓球界の若手選手が世界の舞台で大活躍している姿をTVで見る機会が多くなっていることが好影響なのかもしれません。子町の卓球台は眠っていますが・・・

◆世間では10連休。施設でも家族・親族との交流がある子どもたちは、面会・帰省を楽しみ、玩具や衣服・お菓子などのお土産を手に満足げに帰って来ました。園庭で私の顔を見かけるたびに「(自分の名前)〇〇ちゃんね、面会ないよ!」

と訴えてくる小1女兒がいます。夏休みなど長期休暇中でも面会・帰省のできない子どもたちが7割近くいます。この子たちの切実な声を受けとめて寄り添う支援とは、どういう対応なのだろうか。

「面会ごっこしようか?」でも、子どもの求めているのは実の親の関わりなのですよね!

◆職員からの内線。「M君(小1)が話したいことがあるようなので、聞いてもらえますか?」

すぐにM君が一人でやって来ました。「Kさんとウルトラマンを見に行ったじゃん。怪獣怖いからさ、今度はドラえもんかクレヨンしんちゃん(の映画)を一緒に見に行こうよ!」

子どもから誘われるということは、とても嬉しいことです。

H31年4月～令和元5月に寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)

荒木 嗣則	株式会社西武ライオンズ	東部地域労働者福祉協議会
北田 幸一	太平 内牧夢らんど	浜友観光株
オートージャパン株	太平 かすかべ夢らんど	長谷川 浩一
(株)カイトックインターナショナル	太平 杉戸夢らんど	松本 伸一郎
株小泉襪紙加工所	太平 平方夢らんど	ヤマザキビスケット株
小泉 雅行	太平 エルアンドエル	楽園 南越谷店
小泉産業(株)ブランド推進グループ	太平プレイランド関宿店	吉川文子
坂崎亮二	株 ヒイラギ	株みのや お菓子のまちおか
白石 和代	千鳥屋綿本家(株)	J's Factory
鈴木 美子	株チユチュアンナ 1%クラブ	他 匿名の方

子どもたちのために、たくさんのご支援ありがとうございました

*子供の町のホームページを開設しております。是非ご覧ください。

<http://kodomonomachi.jp/>

子供の町後援会からお知らせ

後援会主催の明治記念館でのチャリティーバザーを、令和元年10月14日(月・祝)に開催いたします。後援会では、皆様の会費や寄付金・バザーの収益等で子どもたちの自立支援や進学支援を行っています。施設を出てからの生活基盤を準備することは、とても大変な事です。少しでも、子どもたちの不安を取り除いて、未来を支えてあげたいと思います。今年度は2名の大学生等が後援会からの奨学金を受けながら、自分の夢に向けて頑張っています。後援会の役員・会員の皆様、職員の応援は、とても大きなご支援になっています。

現在、チャリティーバザーの準備中です。もし、ご不用品等ございましたら、バザーにご提供いただけますようお願い申し上げます。また、当日は、お子様たちにも楽しんでいただけるイベントも開催いたしますので、ぜひご家族の皆様でご来場いただけますようお願い申し上げます。詳細は、後日ご案内させていただきます。

後援会へのお問い合わせ 事務局 TEL 048-746-0206